

公益社団法人 日本水産学会
令和元年度第4回理事会議事録

- 1 開催された日時 令和元年6月15日(土)13時00分～15時22分
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス2号館200A-2
(東京都港区港南4-5-7)
- 3 理事総数及び定足数 総数 19名, 定足数 10名
- 4 出席理事総数 16名
(本人出席) 岡崎恵美子, 家戸敬太郎, 黒倉 寿, 小椋 聡, 佐藤秀一, 高野みゆき(旧姓: 馬久地), 東海 正, 中田英昭, 萩原篤志, 日向野純也, 安井 肇, 横山芳博, 吉崎悟朗, 和田時夫
(途中出席) 良永知義(決議事項第2号議案「令和元年度支部交付金の配分額」の審議中13時05分に着席),
金子豊二(決議事項第7号議案「改元に伴う規程の一部改正」の審議中13時21分に着席)
(出席監事) 北田修一
(途中出席) 杉田治男(決議事項第7号議案「改元に伴う規程の一部改正」の審議中13時21分に着席)
(出席幹事) 坂本 崇, 遠藤雅人, 二羽恭介, 矢澤良輔, 甘糟和男

5 議 案

決議事項

- 第1号議案 「令和2・3年度支部幹事の定数」の件
- 第2号議案 「令和元年度支部交付金の配分額」の件
- 第3号議案 「水産教育推進委員会拡大委員の交代」の件
- 第4号議案 「出版委員会のベルソープックス担当委員」の件
- 第5号議案 「漁業懇話会委員会運営規程の一部改正」の件
- 第6号議案 「e-水産学シリーズに関する規程の一部改正」の件
- 第7号議案 「改元に伴う規程の一部改正」の件
- 第8号議案 「令和元年度秋季大会の日程」の件
- 第9号議案 「令和元年度秋季大会におけるポスターコンペティションの選考に関する申し合わせ及び実施要領」の件
- 第10号議案 「令和2年度秋季大会の日程, 場所及び委員長」の件
- 第11号議案 「令和3年度春季大会担当支部」の件
- 第12号議案 「業務管理システムのプログラム改修委託業者」の件
- 第13号議案 「後援」の件
- 第14号議案 「入会承認」の件

報告事項 ① 第3回理事会以降の職務執行の状況

② その他確認事項

6 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

佐藤会長が定足数の充足を確認し, 続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、佐藤会長が議長となり、本会議の成立を宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第1号議案 「令和2・3年度支部幹事の定数」の件

吉崎総務理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

北海道支部	18名
東北支部	14名
関東支部	41名
中部支部	21名
近畿支部	16名
中国・四国支部	20名
九州支部	21名
合計	151名

第2号議案 「令和元年度支部交付金の配分額」の件

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。令和元年度支部交付金の配分額は次のとおりとする。ただし、関東支部及び中国・四国支部については、平成30年度の期末残高が平成30年度支部交付金配分額を超過していたため、超過金額を差し引いて振り込む。

北海道支部	¥358,100
東北支部	¥329,200
関東支部	¥528,600
中部支部	¥384,300
近畿支部	¥343,800
中国・四国支部	¥373,200
九州支部	¥382,800
合計	¥2,700,000

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第3号議案 「水産教育推進委員会拡大委員の交代」の件

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

[辞任] 水田尚志 [選出] 末武弘章

第4号議案 「出版委員会のベルソープック担当委員」の件

吉崎総務担当理事から、これまで出版委員会の内に配置していたベルソープック担当委員の廃止について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致でベルソープック担当委員の廃止を可決した。

第5号議案 「漁業懇話会委員会運営規程の一部改正」の件 (別紙1)

東海漁業・資源担当理事から、漁業懇話会奨励賞表彰に関わる規程改正案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第6号議案 「e-水産学シリーズに関する規程の一部改正」の件 (別紙2)

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第7号議案 「改元に伴う規程の一部改正」の件（別紙3）

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第8号議案 「令和元年度秋季大会の日程」の件

横山中部支部担当理事から、令和元年度秋季大会について発表申し込みが少ない場合、会期を1日短縮して9月8～10日とする旨の説明があった。本件について以下の質疑応答があった。

吉崎理事「委員会の開催については問題ないか。」

横山理事「理事の委員会重複については把握していないが、会議室の確保はできている。」

佐藤会長「春季大会についてはどうだったか。」

岡崎理事「シンポジウムの開催件数が少なかったため、1日短縮した。発表等の申し込み締め切り後に会期を短縮することに対しては遠方からの参加者の旅程変更への対応が今後の課題である。」

審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

第9号議案 「令和元年度秋季大会におけるポスターコンペティションの選考に関する申し合わせ及び実施要領」の件

横山中部支部担当理事から、原案が説明された。本件について以下の質疑応答があった。

東海理事「公益目的事業としての公正性を明らかにするために、ポスターコンペティションの選考に関する申し合わせ案の一部修正を行ってほしい。」

横山理事「了承した。」

審議の結果、原案を一部修正のうえ出席理事全員一致で可決した。

第10号議案 「令和2年度秋季大会の日程、場所及び委員長」の件

安井北海道支部担当理事から原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

日 程	令和2年9月11日～14日
場 所	北海道大学水産学部（北海道函館市）
委員長	木村暢夫（北大院水）

第11号議案 「令和3年度春季大会担当支部」の件

佐藤会長から春季大会は原則として関東支部が担当することになっているが、大会規程の第3条に基づいて他の支部が開催することも可能である旨の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

担当支部 関東支部

担当機関 東京海洋大学

第12号議案 「業務管理システムのプログラム改修委託業者」の件

吉崎総務担当理事から OS 及びブラウザのバージョンアップに伴う業務管理システムのプログラム改修の必要性及び改修費用について説明がなされた。改修費用については事務機能合理化推進資金にて積み立てが行われている。業者及び見積金額を精査した結果、現在システムの保守管理を行っている業者に委託する案となったが、見積金額は積

立資金を超過する見込みである。不足分については本年度予算から支出することを財務理事に事前に説明し、両財務担当理事から了承を得ている。本件について以下の質疑応答があった。

萩原理事「保守管理は含まれるのか。」

吉崎理事「別である。」

萩原理事「財務上の戦略として今後、地方の業者を検討することも必要である。」

北田監事「機能改善の詳細を明確にしておくべきである。手書きの会計伝票処理は電算化されるのか。」

吉崎理事「会員管理及び学会誌発送管理関連も含めて電算化される予定である。」

北田監事「競争入札にすると安くなる可能性もある。サーバーの値段は妥当なのか。地方ベースの価格も検討したほうが良いのではないか。」

吉崎理事「本学会が用いている会員管理システムは特殊であるため、業者がすぐに見積を出すことは困難である。そのため、現在保守管理を委託している業者による改修が望ましい。」

佐藤会長「作業にはどれくらいかかるのか。」

吉崎理事「4～5 か月かかる。消費税の増税に伴う金額の変更を確認する。」

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 13 号議案 「後援」 の件

吉崎総務担当理事から、下記のシンポジウムの後援依頼について説明があった。

①国際水圏メタゲノムシンポジウム 2019

共 催 学校法人北里研究所北里大学，アブドラ国王科学技術大学，国立研究開発法人水産研究・教育機構，大学共同利用機関法人情報・システム研究機構，国立遺伝学研究所

後 援 (公財) 農学会，マリンバイオテクノロジー学会

日 程 令和元年 11 月 23 日・24 日

場 所 北里大学大村記念ホール（東京都港区）

希 望 後援

負担金 なし

審議の結果、出席理事全員一致で後援を可決した。

第 14 号議案 「入会承認」 の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

(報告事項)

① 第 3 回理事会以降の職務執行の状況

・会長

佐藤会長から、次の報告があった。

1) 水産学若手の会委員会について

a) 平成 31 年度春季大会中の 3 月 27 日に委員会及びナイトポスターセッションを開催した。

b) 令和元年度秋季大会中の 9 月 8 日に委員会及び水産増殖懇話会と共催で「北陸の増養殖研究：地域を支える公設試験場の若手研究者」と題してシンポジウムを行う。

2) 水産・海洋科学研究連絡協議会について

- a) 令和元年度第1回協議会が5月30日に開催され、各学会の情報交換等が行われた。
- b) 日本学術会議主催の公開シンポジウムについて水産物供給に果たす養殖の役割と方向性に関する内容で検討されており、11月に開催される予定である。
- c) 日本学術会議水産学分会が策定する大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープランに協力する。

・庶務関係

吉崎担当理事から下記の通り、報告があった。

1) 令和元（平成31）年度支部幹事について以下の通り、変更があった。

東北支部	永島 宏（退会）	[選出] 青山 潤
中国・四国支部	南 卓志（異動）	[選出] 吉田吾郎
	廣瀬太郎（異動）	[選出] 河野久美子

2) 資格喪失者（会費未納）のうち会費を納入した以下の者を退会へ変更した。

- 小坂康之（正会員，平成30年度資格喪失）
- 杉野弘明（正会員，平成30年度資格喪失）
- 野畑重教（正会員，平成30年度資格喪失）

3) 令和元年度各種委員会委員長及び副委員長を決定した。

4) 学会事務職員期末手当について規程に基づき加算して支給することとした。

5) 職員就業規程第35条(15)により学会事務局を令和元年8月14日(水)・15日(木)に夏季休業する。

6) 学会名の商標登録について平成31年4月16日付けで更新申請登録が完了した。

7) 協賛及び後援について

共催，協賛，後援の取り扱い申し合わせ3)を適用した。

① 2019 生態工学会年次大会

主 催	生態工学会
協 賛	照明学会 他 13 団体（予定）
日 程	令和元年 6 月 28 日・29 日
場 所	宇都宮大学峰キャンパス大学会館（栃木県宇都宮市）
希 望	協賛
負担金	なし

② 2019 年度日本冷凍空調学会年次大会

主 催	日本冷凍空調学会
協 賛	エネルギー・資源学会 他 34 団体
日 程	令和元年 9 月 11 日～13 日
場 所	東京海洋大学越中島キャンパス（東京都江東区）
希 望	協賛
負担金	なし

③ 第 60 回高圧討論会

主 催	日本高圧力学会
協 賛	日本化学会 他 54 学協会（予定）
日 程	令和元年 10 月 23 日～25 日

場 所 北海道立道民活動センター（北海道札幌市）
希 望 協賛
負担金 なし

④ 第 38 回「海とさかな」自由研究・作品コンクール

主 催 朝日新聞社，朝日学生新聞社
後 援 文部科学省 他 4 団体
協 力 日本動物園水族館協会
協 賛 日本水産(株)
希 望 後援
負担金 なし

⑤ 2019 年度岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業

主 催 岩手県
協 賛 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター 他 3 団体
後 援 宮古市 他 38 団体
希 望 後援
負担金 なし

・企画広報関係

金子担当理事から，以下の報告があった。

- 1) 第 2 回委員会を 3 月 29 日に，第 3 回委員会を 5 月 5 日に開催した。
- 2) 日本水産学会誌の冊子紙質が変更となる。これにより若干の経費削減となる。
- 3) 個人会員への日本水産学会誌の冊子体配布の廃止に伴い，日本水産学会誌の目次と URL リンクを会員へメール配信する。また，ホームページの改変に恒常的な予算を配分してほしいとの意見が出された。

・財務関係

東海担当理事から，シュプリングーからの Fisheries Science 84 巻ロイヤリティの振込金額について報告があった。

・編集関係

東海担当理事から，次の報告があった。

- 1) 申請を行っていた科研費研究成果公開促進費（国際情報発信強化）B に 5 年の期間で採択された。本経費は Fisheries Science のオープンアクセス総説の掲載及び海外への情報発信強化に使用する予定である。
- 2) 7 月 11 日開催予定の編集委員会では Springer 社のコピーライトポリシーの変更に伴う Fisheries Science の Licence to publish, LTP 導入に関する審議を行う予定である。

・学会賞関係

萩原担当理事から，公益財団法人農学会から農学進歩賞の推薦依頼あり，候補者選出に向けて選考を進めているとの報告があった。

・シンポジウム関係

横山担当理事から，次の報告があった。

- 1) 3 月 29 日に第 1 回委員会を開催し，令和元年度秋季大会のミニシンポジウム 2 件，令和 2 年度春季大会のシンポジウム 1 件について審議した。
- 2) これまでシンポジウムの開催概要の募集は 1 年前としていたが，メール審議等が可能

であり、必ずしも 1 年前である必要はなく、シンポジウム開催の活性化を促進するため、柔軟的に対応することとした。これに伴い規約の改定やホームページのガイドラインに修正を行う。

3) 第 2 回メール会議にて令和元年度秋季大会中の 9 月 8 日に開催予定のミニシンポジウム「水産物の呈味特性研究の新展開」及び「魚類における不妊化の最前線」について承認した。内容についてはホームページで周知する。

・ 出版関係

佐藤会長から、次の報告があった。

1) e-水産学シリーズについては 2 件の企画の出版に向けて進めている。

2) 7 月 10 日に委員会を開催する予定である。

3) 前回理事会における「水産学シリーズの中国語翻訳について修正等の決定はどこが行っているか。」との質問について恒星社厚生閣から「中国政府が審査するので中国(先方)の出版社が事前に忖度をして修正を行っている。時間が限られているが著者側での確認は可能である。」との回答が得られた。

・ 水産技術誌監修関係

日向野担当理事から、平成 31 年 4 月 30 日付で第 11 巻 2 号が刊行され、これから配布が開始されるとの報告があった。

・ 国際交流関係

中田担当理事から、以下の報告があった。

1) 3 月 29 日に第 1 回委員会が行われた。平成 30 年度の事業報告、収支決算報告、今後開催される国際学会の情報提供及び SDGs セッションの運営についてアンケート結果も交えて意見交換を行った。

2) 交流協定を結んでいる韓国水産学会をはじめとする海外の関連学会との交流の一環として若手会員の海外発表の奨励について議論した。直近で開催されるイギリス諸島水産学会及びアメリカ水産学会については期日が迫っているため、委員会で候補者を推薦して派遣する。今後の方針については令和元年度秋季大会中に委員会を開催して検討を進める。

3) イギリス諸島水産学会との交流協定はこれまでの内容で更新し、韓国水産学会の交流協定については理事会で審議した大会参加費に関する覚書の一部改定を含めて更新する予定である。

続いて国際交流委員会委員長である萩原理事から、SDGs セッションの運営についてアンケート結果について詳細な報告があった。本報告に対して次の質問があった。

萩原理事「令和元年度秋季大会中の委員会で若手会員の海外派遣を若手の会と検討したが、若手の派遣候補者のリストアップをお願いしたい。」

高野理事「検討する。」

金子理事「来年度も SDGs セッションは開催するのか。」

萩原理事「そのように考えている。」

金子理事「実施に関しては国際交流委員会で考えるのか。」

和田理事「本年度は国際交流委員会で企画した内容を大会実行委員会で進めていただいた。今後は大会に組み込む形でお願いしたい。」

金子理事「国際交流委員会と大会実行委員会で連携して進めていく。」

黒倉理事「企画を組み立てて開催目的を絞って進めていくべき。」

吉崎理事「海外の学会長の任期が長い場合は毎年基調講演を打診するには内容的に難しいのではないか。」

萩原理事「毎年各国から2名の会長を招待できる保証はない。」

吉崎理事「海外の学会長を招待できない場合に他の外国人の基調講演を開催するのであれば、追加の予算が必要となるか。」

萩原理事「そのように考えている。日本人の基調講演も検討する。」

・水産教育関係

良永担当理事から、委員会主催のシンポジウムについてメール審議をしており、仮案として高大連携という内容について検討しているとの報告があった。

・水産政策関係

黒倉担当理事から、水産政策の改革については意見書を策定し、総括をしたとの報告があった。また、令和元年度秋季大会中の委員会で今後の方針について議論を始めるとの報告があった。

・漁業・資源管理関係

東海担当理事から、次の報告があった。

- 1) 平成31年度漁業懇話会奨励賞について3名の受賞者を決定した。
- 2) 平成31年度春季大会中の講演会「太平洋クロマグロの資源管理と定置網漁業における漁獲コントロール技術」の内容について月刊海洋の掲載に向けて執筆中である。
- 3) 漁業懇話会委員会運営規程の一部改正について審議した。
- 4) 令和元年度秋季大会中に委員会開催する予定である。

本報告に対して次の質問があった。

吉崎理事「漁業懇話会講演会の内容についてe-水産学シリーズの企画として検討されたか。」

東海理事「委員会では議論していない。月刊海洋への執筆は講演会企画者と講演者の合意であったと考えている。懇話会講演会の内容もe-水産学シリーズの企画として挙げていく意向があれば、委員会に打診をしたい。」

吉崎理事「e-水産学シリーズの企画は始まったばかりなので今回の漁業懇話会講演会のように興味を引く内容については出版を検討することが望ましいと考えられる。」

東海理事「次回委員会で本内容について伝える。」

・水産利用関係

岡崎担当理事から、6月28日に第1回委員会及び6月28日に水産利用懇話会第1回懇話会を日本大学生物資源学部藤沢キャンパスにて開催するとの報告があった。

・水産増殖関係

家戸担当理事から、水産学若手の会と合同で令和元年度秋季大会中の9月8日にシンポジウムを開催するとの報告があった。

・水圏環境関係

萩原担当理事 特になし。

・男女共同参画関係

岡崎担当理事から、次の報告があった。

1) 平成 31 年度春季大会中の 3 月 29 日に開催した第 4 回ランチョンセミナー「水産学会におけるやさしい男女共同参画」及び委員会を開催した。

2) 次回委員会は令和元年度秋季大会中に開催する。

・社会連携関係

安井担当理事から、社会連携のテンプレートについて 6 月上旬に各支部に配布済みであり、情報集約について当面は北海道支部の庶務幹事が事務局と連携して取りまとめを行うとの報告があった。良い事例の報告について要請があった。

・将来計画関係

和田担当理事から、本理事会後の業務執行会議にて今後の方向性について議論するとの報告があった。

・北海道支部，地域連携関係

安井担当理事から、11 月 2 日に令和元年度北海道支部大会を北海道立道民活動センター かでる 2.7 にて開催するとの報告があった。

・東北支部，地域連携関係

佐藤会長 特になし。

・関東支部，地域連携関係

佐藤会長から、7 月 26 日に支部幹事会を開催する予定であるとの報告があった。

・中部支部，地域連携関係

横山担当理事から、令和元年度秋季大会中の 9 月 8 日に支部幹事会及び支部主催のシンポジウムを開催するとの報告あった。

・近畿支部，地域連携関係

家戸担当理事から、支部大会に関してはメール審議にて検討を進めるとの報告があった。

・中国・四国支部，地域連携関係

日向野担当理事から、支部幹事が 2 名交代するとの報告があった。

・九州支部，地域連携関係

佐藤会長から、令和 3 年度秋季大会については宮崎大学農学部が担当し、大会委員長は酒井正博会員が内定しているとの報告があった。また、会場はシーガイアを予定しているとの報告があった。

・英文書籍監修委員会（特別委員会）

吉崎担当理事 特になし。

・東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）

黒倉担当理事から、発災より 10 年で委員会を廃止する予定であるが、今後、地域による個別の案件について議論が必要であるとの報告があった。

・財務検討委員会（特別委員会）

東海担当理事 特になし。

・協賛・後援について

萩原理事から、本学会は他の学会の学術発表会等に対して協賛・後援を行っているが、本学会から他の学会へ協賛・後援を依頼することはあるのかとの質問があった。また、他の学会のホームページ等に本学会の大会案内やリンクを掲載可能であれば、宣伝になるとの意見が出された。これに対し、以下の質疑が行われた。

佐藤会長「特に本学会からお願いしたことはない。」

黒倉理事「複合する分野で新しくできた学会がそれぞれの大元の学会に協賛を依頼している歴史がある。」

東海理事「本学会が協賛・後援を承諾した学術発表等へ本学会の会員が参加する際に、主催する学会の会員と同等の取り扱いで参加できるということで受けていたものがあつたと思う。しかし、最近この点に関しては曖昧になっている。学会名を貸しているだけではない。協賛・後援の依頼書の確認をする必要がある。」

佐藤会長「協賛・後援に関しての規程には記載がないので確認をする必要がある。」

② その他確認事項

(1) 令和元年度理事会開催日程

佐藤会長から、令和元年度理事会の開催予定日時の説明があり、日程を確認した。

(2) 令和元年度選挙の日程

佐藤会長から、令和2・3年度の支部幹事、役員（理事及び監事）候補者、支部長の選挙及び支部長指名支部幹事の選出の日程説明があつた。

(3) 令和元年度決算処理日程

佐藤会長から、事業計画・予算書及び事業報告・決算報告の提出日程と作業概要の説明があつた。

以上をもって議案の審議等を終了したので、15時22分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和元年6月15日

公益社団法人 日本水産学会

議長 会長（代表理事）

監 事

監 事